

早干拓
諫

事業見直しへ「委員会」

結論1~2ヶ月で 赤嶺議員に農水相答弁



「1月には、網を全部撤去した。来期はもたない」 大臣は、開門調査を直ちに決断を

赤松農水相は2月22日、衆院予算委員会で長崎県諫早干拓事業の見直しに向けて「省内に副大臣を長とする委員会を設けて、1~2ヶ月で結論を出すようにしたい」と表明しました。赤嶺政賢衆院議員に対する答弁です。以下、要旨を紹介します。



「よみがえれ!有明訴訟!原告団・弁護団らが諫早湾干拓事業の排水門の開門を求めて集会。赤嶺議員と仁比そうへい参院議員が出席=2月17日国会内

なと裁判所で主張し、アセスをやる。こういう態度に希望を漁民は見出せないんです。こういう矛盾した態度を農水大臣は今後改めて見直していくための検討をしたということか。

赤松農水相 行政は継続性が必要。前政権が、控訴という形でやっている。それを続けるのか、見直すのかも含めて、時間稼ぎでなく、きちっとした方針がだせるように取り組みたい。

開門にむかって事をすすめよ

赤嶺 今の、漁民の置かれている現状から開門に向かって仕事をする以外の選択はない。自公政権の延長線上で事を進めることは、政権交代は何だったのかということが問われる。

運動の関係者から反響がよせられる

昨日の予算委員会での質問、ありがとうございました。質問を契機に事態は開門に向けて急展開をはじめました。

地元では大騒ぎの状態で、漁民たちもビックリしております。タイミングといい、質問の内容といい、開門に向けたすばらしい質問でした。この質問の成果を無駄にしないよう、これからもがんばります。

赤嶺 2月17日の国会内で行われた集会で、佐賀県のノリの養殖漁業者は、ノリの被害が三期連続と訴えた。真冬に赤潮が発生し、一番ノリから出荷できるものではなく、出荷しても廃棄になる。やむなく加工業者に持っていく、15円から20円で取引されるものが、1枚3・5円から3円で引き取ってもらうことになり、今では2円。これでは経費もでない。1月には網を全部撤去した。来期はもうもたない。被害がでないという保証はない。

漁業者の廃業、借金、自己破産する漁民が後を絶たない。政権が変わった今、大臣は開門調査を直ちに決断すべき。

赤松農水相 開門調査について、今までの方針をどう見直していくのかということ、省内に副大臣を長とする委員会をつくり、1~2ヶ月できちっと答えをだせるよう考えてみたい。

赤嶺 自公政権時代の農水省の態度というのは、大変矛盾している。開門する